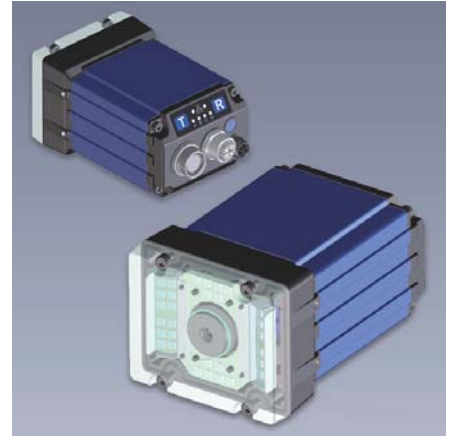


自動認識の世界をより身近に **Flags**

vol.125 2015
10月号

『第17回 自動認識総合展 出展レポート』

先月9月16日からの3日間で東京ビックサイトに於いて開催されました「第17回自動認識総合展」は、皆さまのおかげをもちまして盛況のうちに終了することができました。今年はセンサエキスポジャパン、セラミックス&ガラス技術展2015、測定計測展、第13回総合試験機器展との同時開催となり、見どころ満載の展示会となりました。今月号は自動認識の視点から出展レポートをお届けします。



文字認識OCR・印字品質検査機能搭載
2次元コード固定式スキャナ
MVF-500



今年の自動認識総合展

恒例の自動認識の祭典「第17回自動認識総合展」が今年も9月16日（水）から3日間の日程で東京ビックサイトに開催されました。今年は出展社数も増え、何年かぶりで逆さピラミッドの金色のオブジェがランドマークの、広い西館での開催となりました。また、安心・安全の物作りには欠かすことができないセンサーや計測、試験機器などの展示会も同時開催され、初めての試みとして全ての展示会を自由に相互入場できる様な主催者の配慮があり、非常に多彩な業種の来場者から斬新なご意見、ご要望を頂く事ができた展示会でした。

注目の展示内容

第17回自動認識総合展のコンセプトは「Next Stage of Auto-ID」と題し、自動認識技術をインターネットと物を結びつける Key テクノロジーと位置付けて

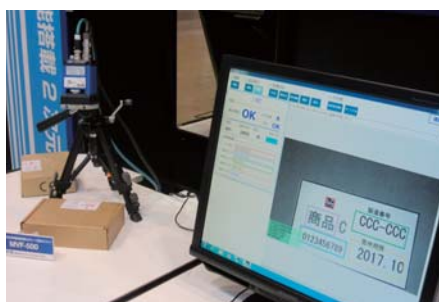
おり、各社ブースで様々なソリューションがアピールされていました。

某ブースでは、人が届かない場所や人が立ち入れない場所、棚卸しの省人化を実現するための手段として、今話題のドローンに UHF リーダを搭載させて遠隔地から物の情報を収集する近未来のソリューションを披露しており、多くの来場者の注目を集めていました。

その他には、免税店での販売規制によりパスポートに記載されている全ての個人情報の記録や、マイナンバー制度の施行などで、画像処理による文字認識のニーズが再び注目を集めていました。

引き続き、今年も音声認識はピッキングや検品作業に向けた実演デモが多く、音声認識率の向上により導入実績も順調に増えてきているようです。

また、バーコードスキャナや RFID リーダーもウェアラブル端末と組み合わせる事により、完全なハンズフリーを目指すソリューションやメガネの裏側で情報が確認できるスカウターなど、SF 映画の主人公が使っていたアイテムも現実の世界となってきました。



当社は、インターネットや IT システムへ、いかに物の情報を提供するか、紐付けるのかを、「接触から数十センチ」、「非接触」、「数メートル」と現場のニーズ毎に異なる個体識別するために必要とされる距離（空間）毎にコーナーを設けて出展いたしました。

文字認識のニーズ

2次元コードスキャナはデジタルカメラを搭載して読み取っており、通常のデジカメと同様に画像を撮影する事が可能です。近年の2次元コードスキャナはカメラ自体の高解像度化はもちろん、処理スピードの向上やメモリ容量の増加により、2次元コードを読み取る以外にも様々な画像認識処理ができるようになってきました。

画像認識と言うと OCR / OCV（文字認識）の需要が一番多く、ハンディターミナル単体や高速搬送用の固定式スキャナなどにも搭載され、バーコード情報の付加情報として“消費日付”、“ロット番号”、“製造記号”、“証券番号”などの文字情報を収集する現場の要求はまだ多い事を実感しました。

展示会終了後にアンケートを集計したところ、文字認識に対してご興味頂いている方がこれほど多い事実には、驚かされました。

また、近年では電子部品や金属部品にレーザーなどでダイレクトに2次元コードをマーキングして、生産履歴の確保や装置への品種認識する個体認識のニーズが世界中で広がっています。

このダイレクトマーキングは、通常のラベルへの印刷と違い、マーキングする対象物の材質や表面色によって印字品質が著しく低下します。

製造工場では、印字品質の悪い2次元コードをターゲットにして、バーコードリーダ側で調整しながら読取りは何とか出来ていますが、「納入先のメーカーで使用するバーコードリーダでは、読取ることが出来ない。」などのトラブルも少なくありません。

昨年より当社は、2次元コードスキャナをより付加価値のある画像処理システムにレベルアップを進めています。今回、展示会で発表したMVFシリーズには、2次元コードを読取るだけでなく、印字品質も解析して情報を提供できる機能を搭載させ、展示いたしました。

シリーズ上位のMVF-500では、さらに前述の文字認識も可能で1台3役を実現しています。



特定小電力型
固定式UHF帯RFID
リーダライタ
FRU-4025



UHF 帯 RFID

UHF 帯 RFID の注目度は昨年に続き注目は全く衰えていませんでした。

今年は現実的な運用イメージをご覧ください。会場へコンベアを持ち込み、UHF 帯のメリットである一括読取りの実演コーナーを設けました。

また、UHF タグが貼り付けられたヘルメットがブース2か所の入り口を通過すると天井に据付けられたアンテナがタグを読み取り、作業者がどこを通過したのかがリアルタイムで追跡できるシステムも実演。ヘルメットの代わりに、台車やパレットなどに UHF タグを貼付ければ物の所在がリアルタイムに追跡が可能となります。

◎画期的な金属タグ

用途に応じた様々な UHF タグを展示しましたが、中でも注目頂いたのが、金属に貼り付けても利用できる“金属対応タグ”では無く、“金属に貼り付けると、金属をアンテナとして送受信が可能になる『金属アンテナタグ』”には、来場される方々に驚かれました。

対象物の金属がアンテナになるので、カゴ車や金属容器なども全方向から読み取りが可能となる画期的な『金属アンテナタグ』です。

最後に

当社ブースにご来場頂きました皆様には御礼申し上げます。残念ながら展示会にご来場頂けなかった皆様には、新製品、参考出展、ソリューションの資料だけでなく、デモ機もご用意しておりますので、当社営業までお気軽にお声掛けください。

また、当社はお客様のお役にたつ新製品、サービスを作り続ける事を企業理念としております。

自動認識技術に関するご要望、ご相談、お悩みなど、お気軽にお問い合わせください。(当社サイトからもお問合せが可能です。“マーストーケン 問い合わせ”で検索)

子会社合併のお知らせ

当社は、10月1日より子会社であるマース東研X線検査株式会社と合併し、X線検査関連の全事業を引き継ぎました。ご愛顧いただいております産業用X線検査装置ならびにX線検査業務を、第三本部として統合し、社員一同一丸となり、新たな決意をもって鋭意努力いたします。

今後とも皆様のご期待に沿うべく専心努力いたす所存でございますので、何卒倍旧のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



今年も
出展します!

第17回図書館総合展

2015年11月10日(火)~12日(木)

同時開催：教育・学術情報オープンサミット2015
/ The 2015 Scientific Information Open Summit

費用無料。招待券は展示会当日も、入口前におかれませう。招待券をお持ちでない方も安心してご来場下さい。

会場：パシフィコ横浜(横浜市西区みなとみらい1-1-1)ほか

主催 図書館総合展運営委員会

次号予告

2015年11月号は・・・

『ミクロンの世界を非破壊で検査する
X線検査テクノロジーのご紹介』

についてです。

Flags 11月号は 11月 9日発行です。

都合により内容が変更になる場合がありますので、予めご了承下さい。
バックナンバーは弊社ホームページに掲載しております。

Flags / フラッグス

2015年10月号 Vol.125 2015年10月8日発行

編集・発行 株式会社マーストーケンソリューション

編集事務局:03(3352)8545

本誌に掲載の記事・写真・図版などは著作権法によって保護されており、無断で転用・転載・複製することはできません。

本 社	東京都新宿区新宿1-8-5	新宿御苑室町ビル
	Tel:03(3352)8522	Fax:03(3352)8579
日立営業所	Tel:029(276)9555	Fax:029(276)9556
名古屋営業所	Tel:052(565)9091	Fax:052(565)9094
大阪営業所	Tel:06(6353)5476	Fax:06(6353)6125
福岡営業所	Tel:092(441)3638	Fax:092(441)3639